

# 総務常任委員長報告

平成30年12月19日

今期定例会において、総務常任委員会に審査付託となりました議案10件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

本委員会では、去る12月13日に委員会を開催し、担当部長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。また議案第132号「三次市総合計画の見直しについて」は、連合審査会を開催し審査いたしました。

議案第121号「三次市犯罪被害者等支援条例（案）」外9議案について、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものを申し上げます。

議案第123号「三次市行政組織条例等の一部を改正する条例（案）」については、危機管理監は、知識や経験のある人材を活用するなど災害時には迅速かつ的確に対応されたい。

議案第125号「三次市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（案）」については、湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）館長は非常勤であるが、専門性を発揮し熱意をもって施設運営にあたられたい。

議案第132号「三次市総合計画の見直しについて」は、国の政策をそのまま市の政策へ反映するのではなく、三次市のあるべき姿を具体的に想起し、市の独自性、主体性のあるまちづくりを実施されたい。また、市民の立場にたち、市民の意欲を高める施策に取り組まれたい。

以上、述べました事項のほか審査の過程において各委員から述べられた指摘及び意見についても、今後十分に反映していただくよう要望し、委員長報告を終わります。